



陣ノ内館の実像に迫る

文化財研修会を開催

12月13日（水）町生涯学習センターで、文化財研修会が開催されました。

同研修会は毎年県内各地で開催され、今回は熊本県文化財保護協会と町教育委員会の共催。講師の鶴嶋俊彦さん（熊本城調査研究センター）が「陣ノ内館の実像」という演題で講演し、町内外から約70人が参加しました。

鶴嶋さんは城郭研究の専門家の視点から、いまだに多くの謎に包まれている「陣ノ内館跡」について、県内の城跡の事例を基に、築城時期や城主について検討結果を述べました。



▲講演に耳を傾ける町内外から集まった参加者たち

仏料理の世界大会で優勝

吉富力良さん（和田内区出身）が快挙



▲12月にフランスで行われた「パテアンクルート」の世界大会で、見事優勝に輝いた本町出身のフランス料理人・吉富さん（右）



▲表彰式で賞状などを受け取る白旗小の児童

復興への取り組みが評価

白旗小学校が「ぼうさい甲子園」で表彰

1月7日（日）、神戸市で「ぼうさい甲子園」の表彰式が開催され、白旗小学校（岩下勇治校長101人）が「はばタン賞」を受賞しました。

同表彰は阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するため、防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰するもので、兵庫県などが主催。

同小は熊本地震後、児童が校内で育てた花を仮設住宅の入居者に届ける活動や活断層の見学、防災講演会などを実施。その取り組みが高く評価され、被災経験と教訓から生まれた優れた活動に対し授与される同賞の受賞となりました。

▼奥名町長に目録を手渡す高崎投手（左）



高崎投手は「長いようで短い11年間でした。横浜ベイスターズから横浜DeNAベイスターズへと新球団になった最初の年に、初めての開幕投手を務めたことがプロ生活で一番心に残っています。プロの厳しい世界で長い間活躍できたのは、応援いただいた皆様のおかげです。今までたくさんのお陰をいただき、ありがとうございました」と現役引退の報告をしました。

町の発展や教育の振興に

高崎健太郎投手（横浜 DeNA）が寄付

12月28日（木）、本町出身のプロ野球選手・高崎健太郎投手（八丁区・横浜DeNAベイスターズ）が町役場を表敬訪問し、町へ寄付金を贈呈されました。

高崎投手は「町の発展や教育の振興のために使ってください」と、奥名克美町長に目録を手渡しました。

高崎投手は、2007年に横浜ベイスターズに入団。投手として11年間活躍し通算25勝を挙げ、昨季限りで現役を引退しました。

商品開発の支援に感謝状

境栄一郎さん（上豊内区）へ甲佐高から

12月15日（金）、甲佐高校（山下由美校長、115人）から境栄一郎さん（上豊内区）に感謝状が贈呈されました。

同高では、本町の特産品を活用した商品開発を目指して、地元農家や企業の協力の下、アイデア商品「ニラみそあられ」を開発。境さんはニラの寄付や収穫体験などを通して同活動を支援し、同校長および生徒らから感謝の意が伝えられました。好評で売り切れていた「あられ」（税込250円）は、甲佐町ろくじ館で販売を再開しています。



▲左から山下校長、境さん、生徒の田上さんと元松さん



▲パラリンピック出場を目指す鈴木さん

甲佐中学校で講演会

車椅子陸上競技の鈴木朋樹さん

12月14日（木）、甲佐中学校で「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント講演会」が開催されました。

同講演会は、オリンピック・パラリンピックの理念や価値、スポーツの素晴らしさについて理解を深めることを目的に、同中が主催。車椅子陸上競技の鈴木朋樹さん（株トヨタ自動車）が「夢を見つけること」という演題で講演しました。

鈴木さんは「どんなことでも、とりあえずチャレンジしてみてください。きっかけはどんなことでも、新しい何かが見つかり、夢や目標につながるかも知れない」と話しました。